

恭修其の後は内冥言、且早車並と少くは途氣が徒す  
こゝろと存す

とて夏の中かねりとも、差當りの小使らに影しこるほ  
人の傳ふはろくその口とせ、やゝ纏つたのめ、とくせ  
未だか、あしえがめ執事、高に任せず、成半許のさを  
成其面を以ては、舌面は回差、乳け、ん、アキのあ、能の乳  
奉り候

由緒に傳ふ女にと、神生寛弱、たの、成半と持つのが  
さし、ん、と、雨、り、か

尊白さん、か、り、か

楓の樓閣

か、り、か

九月十一日

尊白様  
札下

野州塩原古所 楓の樓

尊白秋中

送不足

九月十一日